



令和6年10月9日(水) 岐阜県発表資料		岐阜県発表資料	
担当課	担当係	担当者	電話番号
清流の国ぎふ 文化祭推進課	事業推進係	市岡 美咲	内線 3171 直通 058-272-1971 FAX 058-278-2660

＜「清流の国ぎふ」文化祭2024＞ 文化的処方プログラムシンポジウムを開催します

日比野克彦氏ら有識者を招き、アートによる人と人のつながりや、地域資源の活用など文化・芸術の力でウェルビーイングを高める文化的処方の有用性について意見交換するシンポジウムを開催し、文化が持つ力を発信します。

その他にも、映像を用いた体験型メディアアート作品「Bubbles」など、東京藝術大学や企業が開発した文化的処方テクノロジーを体験できる「関連装置展示コーナー」を設置します。

記

- 1 日 時 令和6年10月16日(水) 14:30～16:45
- 2 場 所 岐阜県庁1階ミナモホール(岐阜市藪田南2丁目1番1号)
- 3 入 場 料 無料
- 4 定 員 350名(募集中)
- 5 主な内容

○パネルディスカッション「文化的処方先進の地～岐阜のこれまで・これから～」
ファシリテーター：日比野 克彦氏(東京藝術大学学長、「清流の国ぎふ」文化祭2024総合プロデューサー)

パネリスト：伊藤 達矢氏(共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点プロジェクトリーダー、東京藝術大学社会連携センター教授)

：塩入 俊樹氏(岐阜大学大学院教授)

：水野 友有氏(中部学院大学人間福祉学部准教授、東京藝術大学地域コーディネーター)

※詳細は専用ページをご覧ください。

<https://gifu-bunkasai2024.pref.gifu.lg.jp/koku-shou-bunsai/event/art/pl0644/>



6 関連装置展示コーナー

○場所：岐阜県庁1階ホワイエ

○日時：10月16日（水）10:00～17:30
（参加費無料、事前申込不要）

○概要

名称（開発団体）	内容
笑顔測定 （日本電気(株)(NEC)）	カメラに映った人物の「笑顔度」をスコアで測定
みどころウォーク （大日本印刷（株））	手すりをたどりながら実際に移動することでVR空間内を動き回ることができる鑑賞システム
みどころキューブ （大日本印刷（株））	文化財・芸術作品などについて、キューブ（立方体）状のインターフェースの中に配置し、テーマ・関連性など多様な視点から紹介できる鑑賞システム
Bubbles （東京藝術大学）	自分の影の動きで投影された映像（シャボン玉）を動かすことができる、ハイブリット影遊びの参加型メディアアート
空間投影×アニメーション （東京藝術大学）	投影されたアニメーションが人の動きに合わせて、目を覚ましたり、目で追ったりする、プロジェクションマッピング

文化的処方プログラムについて

▶文化的処方

「文化的処方」とは、「社会的処方」を援用したもの。健康といったところに医学的な療法で治療を求めるように、同じように文化芸術を用いることでウェルビーイングを求めるもの。

※「社会的処方」とは身体的健康のみならず、精神的及び社会的に健康であることのために、薬ではなく、社会との繋がりを専門人材であるリンクワーカーが医療機関等と連携し必要とする者に処方する仕組みで、主にイギリスなどで行われている。

▶文化的処方プログラム

文化的処方を実践する文化リンクワーカーを育成し、「清流の国ぎふ」文化祭2024の期間中に文化祭会場を活用した文化的処方を実施するプログラム。

共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点の概要

福祉・医療・テクノロジーと融合したアートコミュニケーションによる誰もが「自分らしく」いられる共生社会の実現を拠点ビジョンとした東京藝術大学を代表機関とする機構。岐阜県をはじめ、複数の自治体や企業が参画している。

「清流の国ぎふ」文化祭2024の概要

- 1 正式名称 「第39回国民文化祭」 「第24回全国障害者芸術・文化祭」
- 2 統一名称 「清流の国ぎふ」文化祭2024
- 3 キャッチフレーズ とともに・つなぐ・みらいへ ～ 清流文化の創造 ～
- 4 基本方針 (1)「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信
(2)次世代を見据えた文化芸術の創造
(3)文化芸術で人が輝く共生社会の実現
(4)国民文化の大交流の実現
- 5 会 期 令和6年10月14日(月・祝)～11月24日(日)〔42日間〕